

エムパベリ® 患者安全性カード

エムパベリ®で治療中の発作性夜間ヘモグロビン尿症患者さんはこのカードを常に携帯してください。
また、医療機関受診の際には、治療に携わる医療従事者全員にこのカードを提示してください。

【秘密保持及びデータ保護について】あなたが提供するすべての情報は、弊社のデータプライバシー方針に従って管理され、提供される目的を遵守して管理いたします。弊社の個人データの保護方針についての詳細は、<https://www.sobi.com/en/policies>をご参照ください。これに同意しない場合は、ウェブページに掲載されている連絡先までご連絡をお願いいたします。

Swedish Orphan Biovitrum Japan 株式会社
旭化成ファーマ株式会社

[2023年7月作成]
GAEM-202300006002
PEG30-003-2307

医療従事者の方へ

この患者さんは補体 (C3) 阻害剤「エムパベリ® (ペグセタコプラン)」による治療を受けているため、髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌などによる重篤な感染症の発症リスクが高まる可能性があります。

- 髄膜炎菌感染症等の重篤な感染症は早期発見、早期治療が行われない場合、急激に重症化し死に至ることもあります。
- 髄膜炎菌感染症等の感染症が疑われる場合あるいは否定できない場合には、抗菌薬の投与等の適切な治療を直ちに開始してください。詳しい治療法に関する情報は、最新のガイドラインをご参照ください（「細菌性髄膜炎診療ガイドライン」等）。
- 髄膜炎菌感染症等の重篤な感染症が疑われた場合には、直ちに主治医に連絡をお願いいたします。

（主治医の連絡先は裏面に記載されています。）

エムパベリ®の最新の電子添文は、こちらからご覧いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/39994F0>



感染症の予防のため、ワクチンの接種が必要です。
接種したワクチンを下表に記録してください（医師記入）。

| ワクチンの種類 (接種したワクチンに○をしてください) | 接種日 | 接種日 |
|-----------------------------|-------|-------|
| 髄膜炎菌ワクチン | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 肺炎球菌ワクチン | 年 月 日 | 年 月 日 |
| インフルエンザ菌b型ワクチン | 年 月 日 | 年 月 日 |

エムパベリ®の治療を受けている患者さんは、このカードを常に携帯してください。
エムパベリ®を受け取るときに、
患者コード (エムパベリ®交付番号) を薬剤師さんに提示してください。

髄膜炎菌感染症等の重篤な感染症が 疑われる際の主な徴候及び症状

エムパベリ®の投与により、髄膜炎菌感染症等の重篤あるいは致死的な感染症の発症リスクが高まる可能性があります。重篤な感染症は早期発見、早期治療が行われない場合、急激に重症化し死に至ることもあります。

髄膜炎菌感染症等の重篤な感染症に関連する以下のような初期徴候や症状がみられた場合には、直ちに主治医に連絡し、緊急の治療を受けてください。主治医と連絡が取れない場合には直ちに救急車を呼び、このカードを救命救急室のスタッフに提示してください。

- 発熱
 - 寒気
 - 頭痛
 - 吐き気や嘔吐
 - 発疹
 - 筋肉の痛み（インフルエンザのときのような）
 - 皮下出血（青あざ又は点状出血）
 - 息切れ
 - 脈が速い
 - 冷や汗
 - 首筋や背中のかたまり
 - 光に対する過敏な感覚
 - 錯乱
 - 激しい痛みや不快感
- など

エムパベリ®の投与中及び投与終了後2ヵ月間はこのカードを常に携帯してください。髄膜炎菌感染症等の重篤な感染症を発症するリスクは、投与終了後も数週間続くことがあります。医療機関受診の際には、治療に携わる医療従事者全員にこのカードを提示してください。

患者情報

患者さん氏名

主治医氏名

病院名

主治医電話番号

緊急時受診可能医療機関

患者コード
(エムパベリ®交付番号)

※エムパベリ®を受け取る時に、薬剤師さんに提示してください。

「緊急時受診可能医療機関」をあらかじめ主治医と相談してください。